

週間市場レポート (2021年5月24日~5月28日)

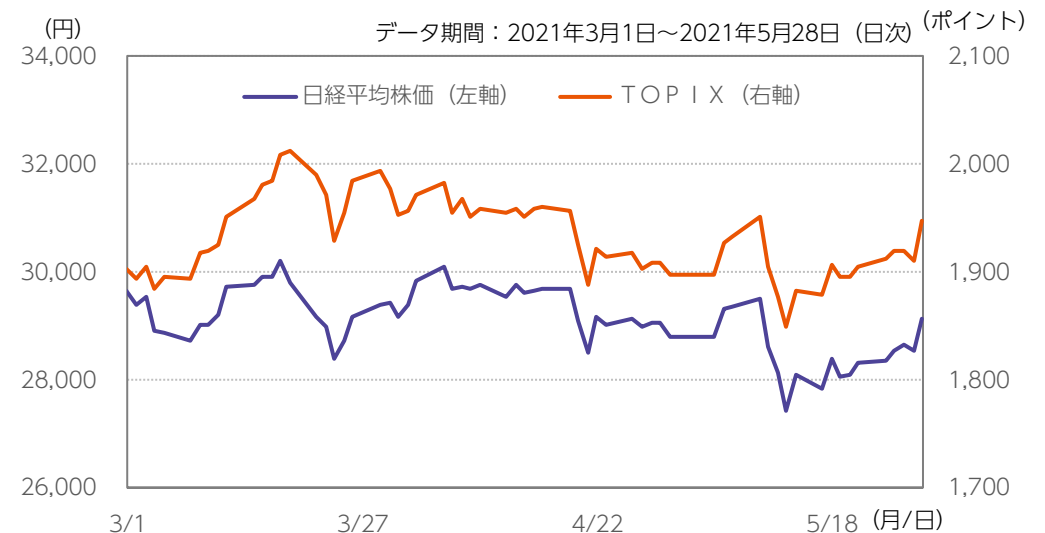
1) 先週の市場動向

指数名	国	前週末 2021/5/21	先週末 2021/5/28	前週末比 (%)
日経平均株価 (円)		28,317.83	29,149.41	2.94 ↗
TOPIX (東証株価指数)		1,904.69	1,947.44	2.24 ↗
ダウ工業株30種平均 (ドル)		34,207.84	34,529.45	0.94 ↗
S & P500種指数		4,155.86	4,204.11	1.16 ↗
ナスダック総合指数		13,470.99	13,748.74	2.06 ↗
ユーロ・ストックス50指数		4,025.78	4,070.56	1.11 ↗
S & P/ASX300指数		7,022.40	7,173.58	2.15 ↗
上海総合指数		3,486.56	3,600.78	3.28 ↗
MSCI AC アジア (除く日本)*		1,044.13	1,064.13	1.92 ↗
東証REIT指数		2,054.44	2,072.89	0.90 ↗
FTSE NAREIT All-Equity REIT 指数		817.97	834.58	2.03 ↗
ASX300 REIT 指数		1,464.60	1,490.20	1.75 ↗
グローバルREIT (除く日本)*		193.69	197.36	1.89 ↗
日本10年国債 (%)		0.083	0.083	0.000 ↗
米国10年国債 (%)		1.622	1.594	▲0.027 ↘
ドイツ10年国債 (%)		▲0.130	▲0.183	▲0.053 ↘
英国10年国債 (%)		0.830	0.795	▲0.035 ↘
ドル/円		108.96	109.85	0.82 ↗
ユーロ/円		132.72	133.93	0.91 ↗
英ポンド/円		154.17	155.83	1.08 ↗
豪ドル/円		84.22	84.72	0.59 ↗
フィラデルフィア半導体指数		3,052.10	3,186.56	4.41 ↗
WTI原油先物 (ドル)		63.58	66.32	4.31 ↗
CRB指数		200.87	205.70	2.40 ↗

2) 日本の株式・債券市場

◀ 株式 ▶

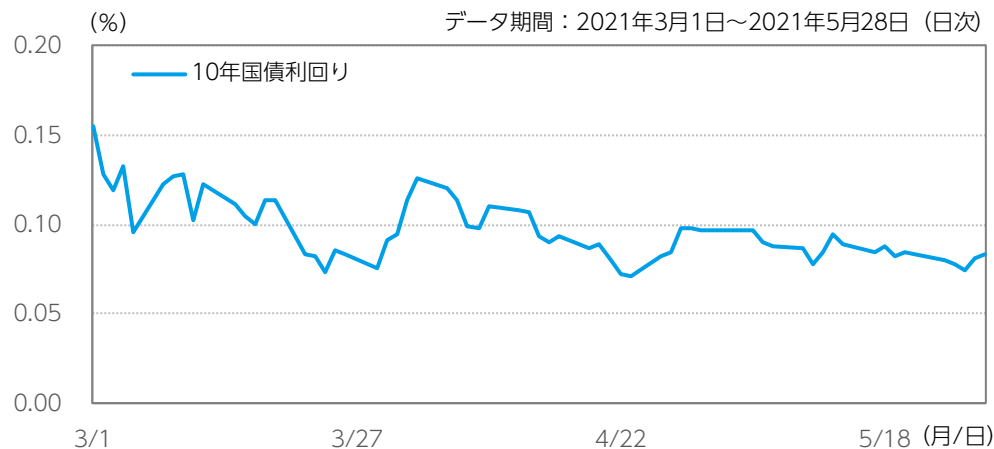
日本株式市場（日経平均株価）は、前週末比で上昇となりました。米長期金利の上昇が一服した、米国株式市場で割高感から売られていたハイテク株を中心に買い戻された流れを受け、半導体関連銘柄を中心に買われました。また、新型コロナウイルスワクチンの大規模接種が東京と大阪で開始され、経済活動が正常化に向かうとの期待から、景気敏感株を中心に幅広い銘柄に買いが広がり、上昇しました。



出所) ブルームバーグのデータをもとにニッセイアセットマネジメント作成
 ※現地通貨ベース * ▲はマイナスを表します。

＜ 債券 ＞

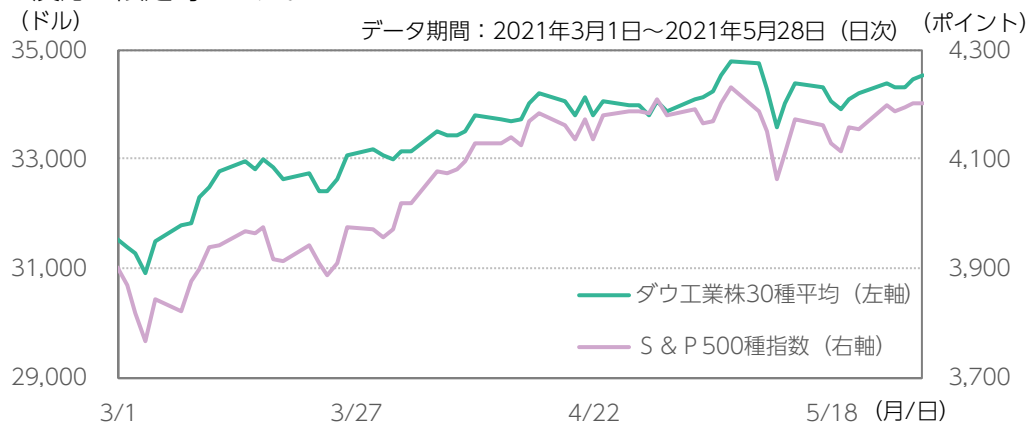
日本債券市場（10年国債金利）は、前週末比で横ばいとなりました。米国でインフレに対する警戒感が後退し、米長期金利が低下した流れを受け週央までは国内金利も低下したものの（価格は上昇）、日経平均株価が底堅く推移したことから、週末にかけて相対的に安全資産とされる国内債には売りが優勢となりました（利回りは上昇）。



3) 米国の株式市場

＜ 株式 ＞

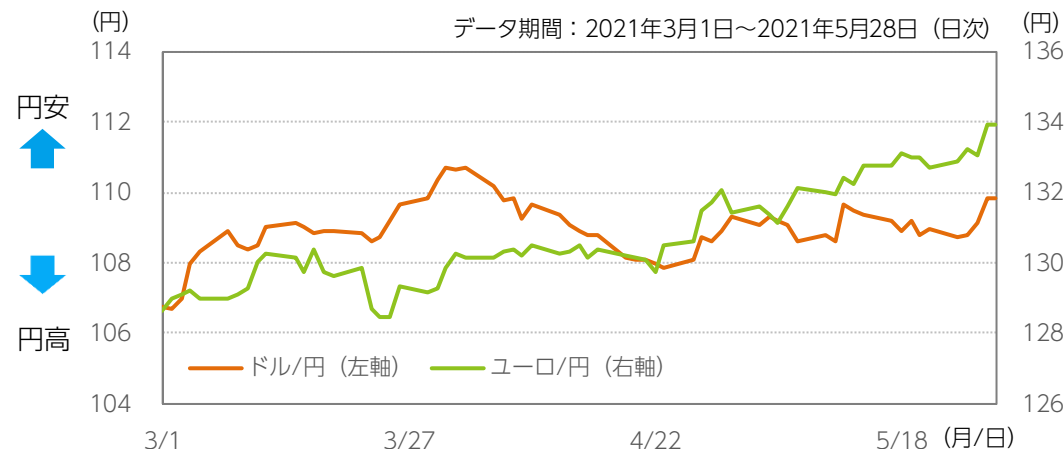
米国株式市場（NYダウ）は、前週末比で上昇となりました。ワクチン接種が進み、経済活動の正常化が進むとの見方から景気敏感株中心に買われました。一方、NYダウは史上最高値圏にあり、利益確定売りも出やすく、週間では上値の重い展開となりました。なお、注目されていたインフレ指標は、市場予想を上回ったものの、警戒するほどの水準ではないとの見方から、市場の反応は限定的でした。



出所) ブルームバーグのデータをもとにニッセイアセットマネジメント作成

4) 外国為替市場

米ドル/円相場は、前週末比で円安米ドル高となりました。米長期金利の上昇が一服したことから、日米金利差を意識した円買い米ドル売りが進行したものの、月末が近づくと、国内輸入企業による円売り米ドル買いが出やすく、週間では円安米ドル高となりました。



5) 今週の見通しについて

1.7%近辺まで上昇していた米長期金利の上昇が一服し、割高感から売られていたハイテク株を中心に買い戻されたことなどから、先週の株式市場は日米両市場ともに上昇しました。

バイデン米大統領が28日に公表した2022会計年度予算案によると、連邦政府の年間歳出が6兆110億ドル（約660兆円）となりました。巨額の財政支出による景気のさらなる拡大が期待される一方、財政支出にともなう国債増発による米金利上昇は引き続き懸念材料となりそうです。国内では高齢者を優先してきたワクチン接種を高齢者以外にも拡大する動きが出ており、接種加速による経済正常化が期待されます。

今週は、米国の主要経済指標が公表されます。先週公表された失業保険申請件数は前週から急減少したことから、週末に公表される雇用統計の結果に注目が集まります。今週の株式市場は、経済指標から景気動向を見極めようと、様子見ムードが高まり、日米両市場ともに動きにくい展開となりそうです。

【当資料に関する留意点】

- 当資料は、市場環境に関する情報の提供を目的として、ニッセイアセットマネジメントが作成したものであり、特定の有価証券等の勧誘を目的とするものではありません。また、金融商品取引法に基づく開示資料ではありません。実際の投資等に係る最終的な決定はご自身で判断してください。
- 当資料は、信頼できると考えられる情報に基づいて作成しておりますが、情報の正確性、完全性を保証するものではありません。
- 当資料の内容は作成時点のものであり、将来予告なく変更されることがあります。
- 当資料のいかなる内容も将来の市場環境等を保証するものではありません。
- 当資料にインデックス・統計資料等が記載される場合、それらの知的所有権その他の一切の権利は、その発行者および許諾者に帰属します。
- 当資料に投資信託のグラフ・数値等が記載される場合、それらはあくまでも過去の実績またはシミュレーションであり、将来の投資収益を示唆あるいは保証するものではありません。また税金・手数料等を考慮しておりませんので、実質的な投資成果を示すものではありません。
- 投資信託は投資する有価証券の価格の変動等により損失を生じるおそれがあります。
- 投資信託の手数料や報酬等の種類ごとの金額及びその合計額については、具体的な商品を勧誘するものではないので、表示することができません。

<設定・運用>



ニッセイアセットマネジメント株式会社

商号等：ニッセイアセットマネジメント株式会社

金融商品取引業者

関東財務局長（金商）第369号

加入協会：一般社団法人投資信託協会

一般社団法人日本投資顧問業協会

ニッセイアセットマネジメント株式会社

コールセンター 0120-762-506

9：00～17：00（土日祝日・年末年始を除く）

ホームページ <https://www.nam.co.jp/>